

## 9月定例市議会

# 災害復旧や道路整備など 2億1000万円の追加を提案

9月8日から同26日までの予定で開会中の9月定例市議会に、市執行部は一般会計補正予算案ほか13議案を提案しましたが、今回は紙面のつごうにより、一般会計補正予算案のおもな内容だけ説明しそのほかは10月15日号に掲載します。それには鳥栖、三養基地区消防事務組合設立、大取橋条例制定、清掃条例の改正などがあります。

一般会計補正予算案は、歳入歳出ともそれぞれ2億116万6000円、既決予算額と合わせ総額は2億6467万9000円、前年同期に比べて21.7%の伸びになっています。今回の補正予算案は、災害復旧事業と、国の補助がつかない事業を優先し、続いて義務教育施設、道路などの整備に重点をおいた補正案を提案しました。おもな内容は次のとおりです。

**総務費** 1140万4000円追加  
市庁舎の駐車場舗装とグラウンドの周囲にへいを造る経費などに343万円のほ

か、悪臭防止法に伴う悪臭採取器具購入費56万円を計上しました。また、久留米大学医学部の施設拡充にたいする寄付金として200万円を計上しましたが、これは日本住血吸虫病撲滅にたいして、なみなみならぬ尽力を受けていることを勘案したことであります。

**衛生関係** 1042万9000円追加  
日住水路工費の基準単価が引上げられましたので1601万3000円を追加。またゴミ処理場関係で、轟木町字一本松に不燃物捨場用地として確保しているおよそ5207平方メートルの土地のうち、借地およそ2813平方メートルを購入するため1276万7000円を計上したほか、焼却炉修繕工費などを計上しました。し尿処理関係では、処理施設の遠心分離機の整備および処理場敷地地地用のブルドーザー購入に合計400万円を計上しています。

**農林水産費** 362万5000円  
7月豪雨で三島地区などの水稲が長時

間冠水し改植が必要となったので、一部県の補助を受け、延べ6.624分の苗、1315箱を鳥栖基山農協育苗センターに依頼しました。この経費18万4000円のほか、そ業の被害3.972分の種子代金と土壌処理の必要経費など11万1000円を計上しました。また昨年度に続いて施工する林道河内線改良工事(延長256㍎)と46年災害の繰越連絡林道大河内線の二工区と三工区が事業承認されましたので、それぞれ必要経費を計上しました。

なお、ことし6月と7月の集中豪雨による災害査定は、第七次まで行なわれる予定ですが、早く復旧をはかためる概算で1086万円を計上しています。

**商工関係** 1649万5000円  
鳥栖商工団体の用地買収関係で、賃金等の経費が必要になったので、県開発公社と協議のうえ602万円を追加したほか、鳥栖ガス会社への出資金1000万円を提案

**土木関係** 2499万2000円  
道路維持のための側こ工費、舗装費、橋の改良、交通安全対策工事に合計1950万円のほか、地方道開発整備事業の促進をはかるため、用地取得費に当てていたものを工費に回しました。用地は先行投資と関係で、ことし6月および7月の豪雨による被害箇所のうち、単独

事業分として198万円を計上。また国の補助を受けて復旧する工事は、予定概算額3586万円を計上し、今後確定した段階で追加する計画です。

都市計画関係では、田代公園の平面測量図作成委託料、朝日山のごみ処理施設と階段工事、今泉～田代線の側こ工費などを計上。また本町第二下水路、7月豪雨による朝日山公園の山くずれによる災害復旧費など280万円を計上しました。

**消防関係** 494万4000円  
鳥栖地区広域市町村圏協議会の事業として、10月1日発足する鳥栖・三養基地区消防事務組合の負担金2656万7000円を計上しましたが、これはこれまでの常備消防費と同額減額して負担金とするものです。また今泉町、飯田町重田、河内町に防火水そうを建設する経費と神辺町、高田町、安楽寺町、立石町の格納庫およびホース乾燥台の整備など合計435万円を計上。

**教育費** 6332万2000円  
小学校では、基里小および鳥栖小の一部校舎の屋根ふきかおおよび鳥栖北小学校運動場南側のへい工事に500万円計上したほか、江見製袋K.K.から寄付があったので、田代小、中学校周辺通学道路の整備費として計上しました。また学校給食施設の充実をはかるため、国庫補助の対象事業として冷凍保管庫、食器洗浄機、食器消毒機などの器具と事務用備品を整備するため505万円を計上。

中学校費では47年度のクラブ活動指定校になった鳥栖西中学校をはじめ、その他の中学校のクラブ活動の備品と消耗品費113万円。鳥栖西中体育館倉庫の新設、基里中渡廊下の新設、田代中の防球ネットの新設などに合わせて100万円を計上しました。

また鳥栖中校舎の改築が、47年度半年で施工できるよう補助が決まりましたので、48年度に予定していた工事費を、今回くり上げて計上しました。

## 無料で調停相談

鳥栖調停協会(西原石太郎会長)は、例年のとおり無料調停相談を行ないます。当日は弁護士も出席しますので、たとえ基本的な問題でお困りのかたは一日も早く解決されるよう、この機会にぜひお出かけください。相談は無料で秘密は絶対おられませんのでご心配なく。

▼親子、兄弟、夫婦間の調整▼相続に関すること▼資金上のご事情▼家屋や土地の明渡しの問題▼交通事故の問題▼境界上のおそれ▼商取引のあらわるとき 10月16日午前10時～午後3時 ところ 鳥栖市中央公民館

## 行政への苦情、相談 うけたまわります

10月のよろず相談は11日(水)に行なわれますが、今回は佐賀行政監察局からきて巡回行政相談もいっしょに行なわれます。役所の仕事についてどうにかしてもらいたい、どうしていいかわからない、不親切にあつかわれた、というような苦情や相談はぜひこの機会に。場所は市役所2階の第1会議室で午前10時から午後3時まで。

よろず相談は、毎月第2水曜日、市役所で行なわれており、行政相談員、人権擁護委員、心配ごと相談員、県の交通事故相談員が相談を受けています。

## 消防職員40人を募集

10月1日鳥栖・三養基地区消防事務組合の発足に伴い消防職員を募集します。採用条件などくわしいことは消防本部(電話02870)へおたずねください。募集人員 40人程度(男子) 募集期間 10月2日～10月11日

## 共同募金と 歳末たすけ合い

青い10月の空に赤い羽根はあたたかいの色。ことしもまた赤い羽根の共同募金の月になりましたが、46年の募金総額は全国で53億6000万円に達し、このうち14億4000万円が福祉を高める事業へ、13億4000万円が養護施設や老人ホームなど施設に入った人へ、2億8000万円が社会福祉総合計画へ、5000万円が災害の緊急支援へ、5億円が福祉運動の推進経費へ、そして17億5000万円が歳末助け合いにそれぞれ配分されました。

佐賀県でも2175万7000円の募金が集まり、各福祉施設や福祉計画事業に配分されました。47年度佐賀県では2300万円を目標にしており、鳥栖市の目標も次のとおり示されました。

戸別募金 108万2800円  
法人大口 54万4000円

学校募金(小、中学校) 1人1円以上  
バザー募金

1個50円

これを受けて鳥栖市社会福祉協議会は、囀託員を通じて戸別募金をお願いします。またこの募金と同時に歳末たすけ合い募金もお願いしていますが、このお金は年来に、恵まれない人や施設にいる鳥栖市の人々に、いくらかでも明るい正月を迎えてもらおうというもので、金額が市関係者だけに配分されます。こちらも合わせてご協力のほどお願いいたします。

鳥栖市社会福祉協議会

前号訂正 4ページ、はりきゅう施術料金表のうち、二術の本人負担額が200円とあるのは270円、三術の本人負担額が200円とあるのは370円の誤りでし

た。また2ページ、「生産調整、標目を軽く突破」とあるのは「……………目標……………」の誤りでた。訂正しておおびたいします。



